

令和8年用なす病害虫防除基準

発行: J A さがえ西村山
さがえ西村山野菜振興協議会

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法 (収穫前使用日数/使用回数)	注意事項
1 定力月前植	青枯病半身萎ちよう病	8F	本畠の土壤消毒 バスアミド微粒剤⑩10a当たり30kg〔は種又は定植21日前まで/1回〕を均一に散布して土壤混和する。	1. 連作は避ける。 2. 排水対策を徹底する。
定植時	ネキリムシ類	1B	カルホス粉剤 10a当たり6kg〔は種時又は植付時/2回以内〕を土壤表面散布土壤混和する。	1. 定植前から除草対策の徹底をはかる。
	アブラムシ類	4A 4A	ペストガード粒剤 株当たり2g〔定植時/1回〕植穴処理土壤混和 アドマイヤー1粒剤 株当たり2g〔定植時/1回〕植穴又は株元土壤混和	のいずれかを施用する。 1. 茎葉・根に薬剤が直接ふれないように注意する。
定植後	半身萎ちよう病	1	ベンレート水和剤 500倍 (20g/10ℓ) [定植後~収穫14日前まで/3回以内] を株当たり200~300mℓ株元に土壤かん注する。	※ベンレート水和剤は収穫30日前までに使用する。
6ヶ月	褐色腐敗病	21 27,11 U17 40	ランマンフロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/4回以内] ホライズンドライフロアブル 2,500倍 (4g/10ℓ) [前日まで/3回以内] ピシリックフロアブル 1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内] レーパスフロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内]	のいずれかを10a当たり150~300ℓ散布する。 1. 発生の多いところでは高畦栽培する。 2. 排水対策をはかる。 3. ホライズンドライフロアブル、ファンタジスタ顆粒水和剤、アミスター20フロアブルは同一成分とみなし耐性菌出現防止のため総使用回数は2回以内とする。 4. ホライズンドライフロアブルは汚れる場合がある。
	灰色かび病	7 12 M7,19 11	パレード20フロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内] セイビアーフロアブル20 1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内] ダイアメリットDF 1,500倍 (6.6g/10ℓ) [前日まで/3回以内] ファンタジスタ顆粒水和剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [前日まで/3回以内]	のいずれかを10a当たり150~300ℓ散布する。 1. セイビアーフロアブル20、ファンタジスタ顆粒水和剤、は褐色斑点病にも登録がある。
	ハダニ類(チャノホコリダニ)	20B 6 25A 20D	カネマイトフロアブル 1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/1回] コロマイト乳剤 1,500倍 (6.6mℓ/10ℓ) [前日まで/2回以内] スターマイトフロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/1回] マイトコーネフロアブル 1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/1回]	のいずれかを10a当たり150~300ℓ散布する。 1. 干ばつのときは、特に発生が多くなるので注意する。 2. コロマイト乳剤は単用で使用し、展着剤は加用しない(水なしに使用しない)。 3. コロマイト乳剤、カネマイトフロアブル、スターマイトフロアブルはチャノホコリダニにも登録がある。 4. ハダニ類の多いほ場には、バロックフロアブル2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/1回] ダニサラバフロアブル1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/2回以内] を使用してもよい。
	アブラムシ類	4A 9B 29 9B	モスピラン顆粒水溶剤⑩ 4,000倍 (2.5g/10ℓ) [前日まで/3回以内] チエス顆粒水和剤 5,000倍 (2g/10ℓ) [前日まで/3回以内] ウララDF 2,000倍 (5g/10ℓ) [前日まで/3回以内] コルト顆粒水和剤 4,000倍 (2.5g/10ℓ) [前日まで/3回以内]	のいずれかを10a当たり150~300ℓ散布する。 1. モスピラン顆粒水溶剤⑩は、アザミウマ類にも登録がある。 2. ウララDFは、ミカンキイロアザミウマにも登録がある。 3. コルト顆粒水和剤はカスミカムシ類にも登録がある。 4. コルト顆粒水和剤はミツバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、ミツバチ放飼期間中は使用を避ける。
	アザミウマ類	6 30 5 5 23	アファーム乳剤 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/2回以内] グレーシア乳剤 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/2回以内] ディアナSC 2,500倍 (4mℓ/10ℓ) [前日まで/2回以内] ダブルシューターSE 1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/2回以内] モベントフロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内]	のいずれかを10a当たり100~300ℓ散布する。 1. ダブルシューターSEは、ハダニ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、オオタバコガにも登録がある。 2. ディアナSC、ダブルシューターSEは、同一系統とみなし連用は避け、総使用回数は2回以内とする。 3. モベントフロアブルは、アブラムシ類、ハダニ類、うどんこ病にも登録がある。
	ヨトウムシテントウムシダマシ類	13	コテツフロアブル⑩ 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/4回以内] を10a当たり100~300ℓ散布する。	1. コテツフロアブル⑩はハダニ類、チャノホコリダニ、ミカンキイロアザミウマ、オオタバコガにも登録がある。
	オオタバコガハスモンヨトウ	28 UN 28 22B	フェニックス顆粒水和剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [前日まで/3回以内] プレオフロアブル 1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/4回以内] プレバソンフロアブル5 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/2回以内] アクセルフロアブル 1,000倍 (10mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内]	のいずれかを10a当たり100~300ℓ散布する。 1. プレオフロアブル、プレバソンフロアブル5は、ハモグリバエ類にも登録がある。 2. アクセルフロアブルはニジュウヤホシテントウにも登録がある。
	カメムシ類	4A 3A	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [前日まで/2回以内] アディオン乳剤 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内]	のいずれかを10a当たり100~300ℓ散布する。 1. スタークル顆粒水溶剤はアブラムシ類(3,000倍)、アザミウマ類にも登録がある。 2. アディオン乳剤はアブラムシ類、テントウムシダマシ類にも登録がある。 3. 合成ピレスロイド剤(アディオン乳剤)は、抵抗性害虫出現回避のため同一ほ場における総使用回数は2回以内とする。 4. 合成ピレスロイド剤は、蚕・魚類に対する毒性が特に強いので注意する。
	ナメクジ類カタツムリ類	-	スラゴ 1~5g/m ² (発生時/-)	1. ナメクジ類、カタツムリ類の発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置する。
9月	うどんこ病	9 11 M7 3,U6	フルピカフロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/4回以内] アミスター20フロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/4回以内] ベルクートフロアブル 2,000倍 (5mℓ/10ℓ) [前日まで/3回以内] パンチョTF顆粒水和剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [前日まで/2回以内]	のいずれかを10a当たり150~300ℓ散布する。 1. 排水対策をはかる。 2. 湿度の高いときに発生しやすい。 3. アミスター20フロアブルは、りんごに薬害があるので飛散しないように注意する。高温多湿下での散布により新展開葉に薬害が発生する場合があるので注意する。また、浸透性を高める効果のある展着剤を使用すると薬害の恐れがあるので展着剤は加用しない。 4. フルピカフロアブルは、灰色かび病にも登録がある。ただし、おうとうに薬害が生じるので飛散しないように注意する。

除草剤使用基準(露地栽培に限る)

	RAC	薬剤名	10a当たり薬量/散布量	使用時期	使用方法	使用回数	適用雑草	特性
処理剤	3	クレマート乳剤	200~400mℓ/100~150ℓ	定植前又は定植・マルチ前(雑草発生前)	全面土壤散布	1回	一年生雑草	・ガス化しないのでマルチ栽培で使える
処理剤	10	バスタ液剤	300~500mℓ/100~150ℓ	雑草生育期定植前又は畦間処理 ただし収穫前まで	雑草茎葉散布	3回以内	一年生雑草	・非選択性、スギナに効果高い

農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。

成分名	農薬名	使用回数	同一成分総使用回数	備考
イミノクタジン	ダイアメリットDF	3回以内	3回以内	
	ベルクートフロアブル	3回以内		

展着剤

薬剤名	散布液100ℓ当たり使用量(希釈倍数)	使用方法	注意事項
サブマージ	33mℓ (3,000倍)	添加	本剤ラベルの記載事項を十分お読みください。
まくびか	33mℓ (3,000倍)		